

**介護職の医療的行為
傷の処置**

介護職の医療的行為ーストマケア

問題1 誤りはどれ？

- ①介護職は、どんな傷でも処置をしてよい。
- ②傷口に異物が刺さっている場合には、医師に相談する。
- ③出血がある場合は、そのままにしておく。
- ④傷を洗浄することは、皮膚の回復に有効である。

MEMO

介護職の医療的行為一傷の処置

問題2 誤りはどれ？

- ①感染している傷は、周囲が青くなっている。
- ②出血をしている場合は、出血部位を心臓より高くして、清潔なガーゼなどで圧迫する。
- ③傷口は、ティッシュペーパーや脱脂綿などで押さえるとよい。
- ④片手で押さえても止血できない場合は、両手で体重を乗せながら圧迫止血をする。

MEMO

介護職の医療的行為—傷の処置

問題3 誤りはどれ？

- ①消毒薬は、新しい皮膚の再生に悪影響を及ぼすため、近頃ではあまり使われなくなってきた。
- ②傷口の洗浄には生理食塩水や水道水が用いられる。
- ③外傷における傷は、どんなに小さな傷でも縫合しなければならない。
- ④脳梗塞の治療薬などを内服している場合は、出血が止まりにくい場合があるので、圧迫はしない。

MEMO

介護職の医療行為－傷の処置

問題4 誤りはどれ？

- ①近年ではガーゼを使わずに、ポリエチレンの素材のラップや流しの三角コーナーに使う水切り袋を使って傷を覆い、治す方法（ラップ療法）が普及している。
- ②ラップ療法では、傷からの浸出液が多い場合には、紙おむつをラップでくるみ、ラップに穴をあけて、浸出液を紙おむつに吸わせるようにすると効果的である。
- ③傷は最低でも3日に1回は、洗浄して状態を観察して、ラップを交換することが重要である。
- ④ラップ療法は、処置が簡単であるが、コストがかかることが欠点である。

MEMO

介護職の医療的ケア-傷の処置

問題5 事例問題

介護施設の機械浴で入浴介助をしていたが、右上腕が機械に引っかかり、5 cmもの大きな傷ができてしまった。それほど深い傷ではなく、表皮剥離の深さであった。出血も数分圧迫するだけで止血ができた。主治医に電話連絡をしたが、今日は診察ができないので、明日、診察にきてくださることになった。

明日までは、ラップ療法で処置をしておくように指示があったが、どんなことに注意して、どのような対応をしたらよいか。

MEMO
